

XADO技術によるエンジン処理報告書

「Volga」のエンジン： 圧縮圧力が均一化、 ガソリン消費量が減少

発注者：工業事業所（ボルゴグラード）・処理実施者：ストロイ・セルヴィス科学技術センター有限責任会社
・報告書に双方の署名と発注者の押印あり

ロシア、ボルゴグラード・2002年6月10日付の報告書

製品

ガソリンエンジン用XADO
ゲル
XADO技術による処理、エンジンの分解不要

処理対象

自動車「Volga」
ガソリンエンジン（内燃機関）、
4気筒

文書の種類

処理報告書
双方の署名・事業所の押印
付き

対象

自動車「Volga」、ガソリンエンジン、4気筒

処理

XADOゲル、エンジンへの投入（
分解不要）、通常運用中の車両

測定項目

気筒別圧縮圧力（処理前後）・ガソリン消費量

主要な結果

↑ **1.0-2.0 atm**

気筒別圧縮圧力、9～10 → 11 atm

↓ **10 %**

日常運用における自動車のガソリン消費量

気筒別圧縮圧力：処理前後

気筒	処理前	処理後	変化量
第1気筒	9.0 atm	11 atm	+2.0 atm
第2気筒	9.5 atm	11 atm	+1.5 atm
第3気筒	10 atm	11 atm	+1.0 atm
第4気筒	9.0 atm	11 atm	+2.0 atm

処理後、4気筒すべてが11 atmという同一の値を示した。平均増加量は測定値で1.6 atm、処理報告書の結論では2 atmである。ガソリン消費量は同じ結論による評価である。

処理報告書の結論

本報告書には発注者と処理実施者が署名し、事業所の押印により証明されている。記載をそのまま引用する：「処理の結果、ガソリン消費量が**10%**減少し、圧縮圧力が平均**2 atm**上昇し、エンジンの作動がより円滑になり、車両のアクセル応答性が高まり、自動車の加速性能が向上した」。同じ報告書にある気筒別の測定値が、この結果の由来を示している。処理前は気筒ごとに値がばらついていたが（**9.0、9.5、10、9.0 atm**）、処理後は4気筒すべてが**11 atm**にそろった。ピストン・シリンダ部の気密性の回復こそが、エンジンの円滑な作動と燃料消費量の減少の原因である。圧縮圧力は物理的にメーカー規定値を超えて上昇することはないため、全気筒が同一の値に達した状態が到達し得る上限である。エンジンは分解せずに、通常運用中の車両で処理された。



© XADO。無断転載禁止。
本結果は、XADO技術により分解せずに処理された乗用車「Volga」のガソリンエンジンに関するものである。他の機械類や異なる運用条件では、測定項目の値が異なる場合がある。2002年6月10日付の報告書の原本は全文が公開されており、ダウンロード可能である。